

広報



2006  
(平成18年)

# まつざき

7

No. 506



みんな なかよし

中川幼稚園で高齢者との交流会が行われました。(6/13)

# 安全で快適な夏に向けてー夏期対策

## 海水浴場オープン

六月四日に岩地海水浴場で海開きが行われました。これに続き、二十五日には石部海水浴場、七月一日に雲見海水浴場、七月八日には松崎海水浴場の海開きが予定されており、本格的な海水浴シーズンを迎えます。

賀茂健康福祉センターによる町内すべての海水浴場の水質検査の結果はAと判定され、安心して海水浴が楽しめます。各海水浴場とも七月十五日から監視業務を始め、安全確保に努めます。

また、近年愛好者の増えている水上オートバイ対策として、松崎海岸ではブイを設置して遊泳区域と運行区域を明確に分ける規制を行い、事故防止に努めます。

## 食中毒防止対策

年間宿泊客数の四割近くが夏のシーズンに集中していま

す。

このため、賀茂健康福祉センターでは、食品営業施設の監視指導を行うほか、食品営業者に対する食中毒防止講習会の実施や広報活動を予定しています。

賀茂健康福祉センター  
松崎支援室

四二一〇二六二

## 夏の交通安全対策

子供と高齢者の交通事故防止、自転車の安全利用の推進、行楽期における追突事故防止を重点目標に、七月十一日から二十日まで「夏の交通安全県民運動」が実施されます。観光客、帰省客の増加に伴い交通事故も増加します。交通ルールとマナーを守り、交通安全を心がけましょう。

なお、八月十六日は夏祭り開催に伴い、松崎地区で交通規制が行われますので、皆様の御協力をお願いします。

## 不法投棄防止対策

夏期シーズンは廃棄物不法投棄が多発します。その対策として、例年不法投棄取締りパトロールを実施しています。期間は七月、八月の二ヶ月間で、不法投棄多発箇所を中心に毎週実施します。

不法投棄を発見した場合は廃棄場所、廃棄物の種類によって土地所有者、関係機関への連絡を行います。また、悪質なものについては警察に通報するなどの措置を講じます。パトロールのほかにも、不法投棄防止の広報活動や看板の設置等を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めます。

生活環境課  
四二一三九六九

## 海でのもしもは

### 一一八番!

警察の一〇番や消防署の一一九番とともに、海上保安

庁の一八番も忘れないでください。

海難救助の要請だけでなく、密航や不審船の情報提供にもご利用ください。

また、七、八月は海の安全運動強化期間として、事故救命手段の確保徹底、出港前点検の徹底と見張り励行を重点事項として広報活動や巡回指導等を行う予定です。

海上保安庁下田海上保安部  
二二一〇一一八

## 夏のゴミ対策

ゴミの量が増大する夏期の処理対策として、七月二十四日から八月十九日まで特別収集を行います。日程はお知らせカレンダーをご覧ください。皆様のご協力をお願いします。

◎可燃ゴミは指定ゴミ袋で出してください。

◎可燃ゴミと分別ゴミはしっかりと分けて、分別収集にご協力ください。

◎水分を充分切ってから出し

てください。

◎可燃ゴミは八時十五分までに出してください。

生活環境課

四二一三九六九

## 青少年健全育成

七月は、青少年非行防止強化月間です。家庭・学校・地域社会が連携し、青少年の健全育成及び非行防止に努めましょう。

期間中、健全育成の啓発チラシの配布や非行防止キャンペーン、広報車による巡回広報等さまざまな取り組みが予定されています。

「うちの子・まちの子・みんなの子」を合言葉に、地域一丸となった活動への参加をお願いします。

教育委員会

四二一三九七一

# 平成十七年度事業会計決算の概要



町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」



大沢新水源地

## 水道事業会計

昨年度の有収水量は一二万三千立方メートルで、前年と比べ三万七千立方メートル減となり、一般、営業、官公署のほとんどの分野で使用水量が減少しました。

使用水量の減による収益の減少に加え、委託料や動力費などの営業費用が増加し、純利益は九百二万円となりました。

なお、平成十二年度から継続しておりました、中川地区の水道本管布設替工事も平成十八年度をもって終了いたします。

今後とも清浄な水の安定供給と事業の健全運営に努めてまいります。

## 温泉事業会計

現在の契約給湯戸数は、自家用三一五戸、営業用四一戸で毎分二、二二リットルを給湯しています。

営業用から自家用への種別変更などにより供給収益は減少いたしました。企業債の繰上償還を行い、費用も減少したため、一、一七八万円の純利益を計上しました。

施設は順調に稼働していますが、収益が減少傾向にあることから、新規加入や利用促進に努めてまいります。

## 国民宿舎事業会計

国民宿舎「伊豆まつぎ荘」は昭和三十九年から四十二年間にわたって皆さんに親しまれ、町の観光の拠点としての役割を果たしてきました。

営業最終年度として、宿泊客数の減少傾向に歯止めをかけるため季節に応じた企画や宣伝活動の実施、応接サービスの向上に努めました。

結果的に、利用率においてはほぼ前年並みとなりましたが、解体に伴う資産除却費により、一億九千七百六万円の損失となりました。

## サンセットヒル松崎

平成七年から十一年間にわたって日帰り入浴の出来る宿泊施設として皆さんに親しまれてきましたが、国民宿舎同様最終営業年度となるため、誘客に努めましたが、利用者の減少を止めることはできませんでした。

## 町営宿泊施設事業会計

実績としては、利用者の減少に加え、廃止に伴う資産除却費が増加し、二億七千二百五十六万円損失となりました。

三月九日に町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」がオープンしました。

三月は二十二日間の営業となりましたが、宿泊人員は二千四百五十五人と予想を上回り、七百六十三万円の純利益を計上しました。

「伊豆まつぎ荘」でも旧施設以上の役割が果たせるよう努力してまいります。

## 会計別決算状況

単位：千円（税抜）

項目	決算額		差引 (純損益)	前年対比	
	収入	支出		収入	支出
水道事業会計	140,143	131,119	9,024	96.0	111.8
温泉事業会計	69,167	57,383	11,784	96.4	95.8
国民宿舎事業会計	134,075	331,143	△197,069	77.4	165.7
サンセットヒル松崎	137,393	409,961	△272,568	80.6	217.6
町営宿泊施設事業会計	26,033	18,401	7,632	—	—

# 地域・中学・高校のスクラム 二年目の推進

(西豆地域教育研究協議会の報告) 事務局松崎高校より

本協議会が発足して二年が経過します。十七年度については、連携型中高一貫教育制度導入に向けて、実質的な議論を開始することができたと考えています。

この一年間の主な活動の報告と十八年度の取り組みの一部を紹介します。

## 十七年度

### ①連携型中高一貫校視察

西豆の中高一貫教育の将来構想を策定する目的で、中・高等学校の教頭、教務主任らによる県外視察を夏期休業中に実施し、広島県御調地域、島根県飯南地域を視察しました。

### ②中・高職員合同研修会

松崎高校と三中学校全職員が一同に会し、夏期休業中に

研修会を実施しました。

中高一貫教育の先行実施校である佐賀県立致遠館高校付属中学校の副島教頭先生をお招きし、講演会を実施する事ができました。

### ③静大教育学部との交流協定

地域の次代を担う人材を育成することを目的として、静岡大学教育学部と西豆地域教育研究協議会との間で、締結しました。また、伊豆半島南端地域など遠隔地域の振興を目的として同大学、同学部は過疎地域枠推薦入試制度を発足させました。

### ④進路ガイダンス

中学校段階からも進路を意識できるように考え、一月二十日、高校一年生の進路ガイダンスに、三中学の二年生が参加しました。

### ⑤美術部会活動

- ・ デッサン教室
- ・ 美術館鑑賞教室
- ・ 中高合同授業

地域の美術教育振興のために中学生に本格的な美術教育の機会を提供しました。特に、美術館鑑賞教室は美術作品に接する機会の薄い地域柄、両町の協力によって町所有バスを使用して、県立美術館にて鑑賞教室を実施することができました。



## 十八年度

### ①中高交流授業

十八年度から交流授業が始まりました。中高六年を見通した学力を育成しようとする一貫教育の核となる事業です。

松高から松崎中学校へは、

英・数・美で各二時間、計六時間、西伊豆中学校へは、英・数で各二時間、計四時間、茂中学校へは美で二時間、計十二時間の交流をしています。

## 中学・高校・大学連携

## 西豆イングリッシュ サマーキャンプ募集中

- 目的** ・英語会話能力育成  
・静岡大学教育学部との交流事業
- 対象** 松高・連携3中学校生徒
- 場所** 松崎町環境センター・西伊豆町やまびこ荘
- 人数** 約25人
- 日時** 8月17日、18日(1泊2日)  
事前研修有り
- 指導** 西豆中高校英語教員、東部地域ALT6人  
静岡大学教官、静岡大学生5人
- 費用** 3千円(含む:宿泊費、食費、研修費)
- 参加** 各学校英語科教員に申し込む。
- 申込締め切り** 7月7日

# 今月から「国民年金保険料の免除制度」が利用しやすくなります。

国民年金制度は、二十歳以上六十歳未満の全ての方が加入する制度です。老後の老齢基礎年金のほか、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金が受け取れる制度です。

国民年金の保険料は月額一万三千八百六十円（平成十八年度）ですが、経済的な理由等で保険料の納付が困難な場合は、申請手続きをしていたり、保険料の納付が免除又は一部納付（一部免除）制度があります。

保険料の免除制度は、

・「全額免除制度」  
保険料の全額が免除

・「半額納付制度」  
保険料の二分の一を納付

（残りの二分の一が免除）  
の二種類でしたが、今月から

・「四分の一納付制度」

保険料の四分の一を納付

（残り四分の三が免除）

・「四分の三納付制度」

保険料の四分の三を納付

（残り四分の一が免除）

の二種類が新たに加わり、

全額免除制度と三段階の一部納付制度になります。

◎一部納付する場合の  
月々の保険料額（平成十八年度）は次の  
とおりです。

・四分の一納付

三千四百七十円

・二分の一納付

六千九百三十円

・四分の三納付

一万四百円

これらの制度をご利用いただく場合は、ご本人、配偶者、世帯主の前年所得がそれぞれ

一定の基準額以下であることが条件です。

国民年金（基礎年金）の給

付の三分の一（将来は二分の

一）は国庫負担でまかなわれているため、保険料が免除さ

れた期間は、老齢基礎年金の

計算の際に国庫負担に相当する額が年金額に反映されます。

また、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられる場合の受給資格にも含まれるため安心です。

ただし、一部納付制度は、

納付すべき一部保険料が未納

となった場合は、一部免除が無効となり、老齢・障害・遺族の基礎年金の受給資格期間には含まれませんので、必ず

一部保険料を納付していただく必要があります。

このほか、

・「若年者納付猶予制度」

三十歳未満の方の保険料

納付が猶予（所得審査あり）

り）

・「学生納付特例制度」

学生の方の保険料納付が

猶予（所得審査あり）

・「法定免除」

障害年金や生活保護法の

生活扶助を受給している

方の保険料が免除

などもありますので、詳しく

は、国民年金担当窓口又は社会保険事務所へお問い合わせ

ください。

◎免除された保険料等の追納について

免除または猶予された保険

料については、将来受け取る

年金額が少なくならないよう、

十年以内であれば納付するこ

とができます。この場合、承

認された期間が属する年度か

ら起算して三年度目以降に納

付する場合は、経過した年数

に応じた一定の加算額が加わ

ります。

国民年金保険料の免除制度

に関する手続き方法など、詳

しくは三島社会保険事務所

（〇五五―九七三―一六六）、

役場健康福祉課（四二―三九

六六）、または「ねんきんダイ

ヤル（〇五七〇―〇五一一

六五）」までお問い合わせくだ

さい。

年金制度については社会保

険庁ホームページに詳しく掲

載されています。

（<http://www.sia.go.jp/>）

# 子ども会球技大会



優勝 ブラックタイガーズ  
(三浦)



準優勝 松崎千本桜



第3位 中川やまびこ

六月十一日(日)、勤労者体育館を会場に、松崎町子ども会球技大会が開催されました。当日はあいにくの雨となり、総合グラウンドで予定されていたソフトボールは七月一日に延期されました。

体育館で行われたドッジボールは、参加七チームによるリーグ戦形式で試合が進められ、午前九時から午後二時まで全十一試合が行われました。

優勝したのは、ブラックタイガーズ(三浦)で、平成十五年からの連勝記録を更新しています。

六月二十四日に開催された賀茂郡子供会球技大会には、ブラックタイガーズと松崎千本桜の二チームが出場、今年こそは優勝をと臨みましたが、Aグループのブラックタイガーズは二勝二敗で三位、Bグループの松崎千本桜は一勝三敗で五位となりました。

## 松崎文芸

俳句

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 吟行や緑雨の箱根遊覧す      | 細矢金治  |
| 箱根路や車窓を走る余花の雨    | 清水高子  |
| 箱根路や若葉の先の一しづく    | 鈴木すみ江 |
| 深山の墨絵ぼかしに夏の霧     | 小林一男  |
| 霧晴れし昔を今に閑所跡      | 小林忠男  |
| さみだれや閑所跡なる大扉     | 佐藤享   |
| 角材の獄舎を今に夏木立      | 斎藤みつ子 |
| 藤椅子に座る吾が身の日曜日    | 山本武男  |
| 野ばら咲く娘から届きしエアメール | 吉岡うた子 |
| 蜘蛛の囀の水玉光る朝かな     | 夏目和子  |
| 蜘蛛の囀を物ともせず蜂矢玉    | 山本一詞  |
| 物ほし場干すに遠慮の蜘蛛の囀よ  | 松田美智子 |
| 蜘蛛かこい五角に織りなす匠業   | 稲葉菊恵  |
| 蜘蛛の囀にふとカンダタを想ひけり | 土屋規矩子 |
| 隣家との往き来は裏戸蜘蛛の糸   | 稲葉文字  |
| 誇らしく十郎蜘蛛の菜の光り    | 依田ふじ枝 |

# まちのびろいっく

## 波間の持久戦 シーカヤックマラソン

六月四日(日)岩地海岸の海開きに合わせてシーカヤックマラソンが開催され、百二十艇のカヤックによる波間の戦いが海の季節到来を告げました。競技は一人乗りのシングル男女と、二人乗りのタンデムの三部門に加え、チーム部門も新設され、波勝崎までの往復十四キロでタイムを競いました。



## 三聖塾生 十字の園の花壇を整備

六月十七日(土)松崎十字の園で、三聖塾生による花壇整備が行われました。今年には塾生のメンバー三十四名で花壇の草取りと花の植替え作業に挑戦、二時間ほどできれいな花壇に生まれ変わりました。



## 黒潮会から 杜協へ

六月二十日(火)、黒潮会の皆さんから福祉事業のために寄付金が贈られました。野球を通して青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化を図ろうと昭和二十一年に設立された同会では、十年毎に福祉事業への寄付を続けており、今回は六十周年を記念しての寄付となりました。



## 枝垂桑

一年前になるだろうか、街角で同級生の女性に呼び止められました。お願いがあるとのこと。話は、

県蚕業試験場松崎分場が廃止される少し前の事です。試験場長から枝垂桑が無くなってしまうよう、

記念樹として育てて欲しいと頼まれ、畑の隅に植えてあるのだが、せつかく預かった木を管理しきれないで枯れさせてしまう恐れもある。町で管理して欲しいと思うがどうか。という事でした。

町では、長野県松本市との交流があり、重文岩

科学校と旧開智学校との姉妹館提携の打ち合わせの席に、たまたま松崎分場に勤めていた方がいて、養蚕事業の記録を作ろうという話があったことか

ら、即座に松崎中学校の校庭に植えて育てると約束しました。

町内には、昔蚕を飼っていた農家が多くあったと聞いています。蚕からまゆ玉になるまでの工程を、文書や写真ではなく、実際目で見られる施設を作ってみて欲しいと思っただ次第です。

松崎町長

深澤 進

## 町長室からこんにちは ⑤⑤



蚕業試験場跡地

# 21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

## 町の人口と世帯

(平成18年6月1日現在)  
( )内は前月比

総人口	8,496人 (+17人)
男	4,044人 (+4人)
女	4,452人 (+13人)
世帯数	3,163戸 (+3戸)
転入	22人
転出	5人
出生	7人
死亡	8人

## 町の交通事故

平成18年6月15日現在  
( )内は前年対比

人身事故	18件	(±0)
物損事故	49件	(±0)
死者	0人	(±0)
傷者	28人	(+1)

## おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈2	土屋言宣	79	義喜
江奈2	佐野富子	71	修
峰輪	廣瀬良子	81	寛之助
江奈1	菊地圭司	69	芙紗子
江奈2	平川きの	88	昭博
吉田	馬場静雄	81	正義
江奈2	石田勝	63	勝幸
桜田	村松金太郎	57	より子

## 戸籍だより (5月分)

### おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
中村	芽生	女	山本憶久
東区	ソウ 颯汰	男	野木沼昭英
道部	トモカ 友香	女	稲葉誠
桜田	マナト 翔	男	山田太一
江奈1	シオン 詩音	女	渡邊和夫
池代	ユイ 唯	女	浅賀浩仁
中区	ユイ 優衣	女	佐々木和則

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

## 保健師だより

### 油断大敵、食中毒!

生活環境が衛生的、かつ快適になった昨今ですが、食中毒の患者数は生活環境の向上とは関係なく、過去四十五年間ほとんど変化していません。というのも多くの食中毒の原因は「細菌」。私たちが毎日口にする食品に容易に紛れ込むことが出来る上、短時間の間に何万倍にも増殖したり、他へ移ったりすることが出来ます。

#### 食中毒を予防するために

- 買い物** — 新鮮なものをスピーディに。生鮮食品は最後に買う。
- 保存** — 冷蔵庫の過信は食中毒のもと。冷蔵庫は詰めすぎない。扉の開閉には気を配る。
- 調理前** — 食材は流水でよく洗う。手、まな板、包丁も食材が変わる毎にこまめに洗う。
- 調理中** — 加熱料理は食中毒予防に最も有効。七十五度で一分以上加熱。

## 姉妹都市通信

### 帯広市から

五月二十六日、松崎町の皆さんから特産の「甘夏みかん」が届き、さっそく市内の老人福祉施設や児童福祉施設に配布しました。

市内の児童福祉施設「十勝学園」(池田社会福祉協議会、畠山園長)では、箱が開けられると、子供達は、初夏の香りを伝える黄色い便りに触れてみて、その大きさに驚いたようでした。同園では夕食のデザートとして開拓ゆかりの地からの贈り物に舌鼓を打ちました。皆さん、ありがとうございました。



甘夏みかんに触れて感動!